

100

1929-2029
100th
美はつづく。

武蔵野美術大学

Musashino
Art
University

石巻の大地と文化にふれた陶磁作家と美大生、自然や生きものへの憧れを
仮面で表現するワークショップ参加の小中高校生によるコラボレーション
石巻が表現された陶磁作品およそ50点を一堂に展示



石巻市博物館

ISHINOMAKI
CITY
MUSEUM



2026

10.30 (金) ~ 11.1 (日)

時間 9:00 - 17:00 (最終日は 15:00 まで) 見学無料

会場 石巻市博物館 企画展示室 (マルホンまきあーとテラス内)

博物館住所: 〒986-0032

宮城県石巻市開成1-8(マルホンまきあーとテラス内)

問い合わせ: 0225-98-4831

ホームページ: <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/museum/index.html>

大地と食の陶磁展

石巻市博物館では、2024年に締結した武蔵野美術大学との連携協力協定に基づき、美術・デザインから石巻市博物館を核とした文化芸術振興プログラム「森と海の実験展」を進めています。

今年度は、同大学造形学部工芸工業デザイン学科の陶磁専攻とのコラボレーションによって、素材研究、制作実践、小中高校生のワークショップを行いました。

本展は「大地と食の陶磁展」と題し、石巻の土や石を用いた素材研究と、石巻の食文化や民俗文化のリーサーチによる以下の構成でその成果を展示します。



第1章
ワークショップ「石巻のいきものに変身！～やきものの仮面をつくろう～」
石巻および隣接地域の小中高校生ワークショップの成果



粘土で仮面制作



石巻のいきものをみんなでドローイング

第2章
フィールドワークによる陶磁作品展
美大生による桃生茶や牡鹿半島の第一次産業の取材と陶磁作品



春ワカメの選別体験（阿部水産）



鯨や魚をモチーフにした学生作品

第3章
大地の素材研究
雄勝石を原料に加えた釉薬と粘土の研究結果



雄勝硯伝産業会館展示室



雄勝石を使用した釉薬の試験

トークイベント

「みんなで見つけた石巻 —陶磁を通したまなざし—」

日時

2026年10月31日 10:00～12:00

場所

石巻市博物館企画展示室およびロビー特設会場

イベント内容

小中高生ワークショップ参加者と大学生による出品作品の紹介

クロストーク

西川聡（武蔵野美術大学教授）× 磯谷慶子（陶磁作家）

聞き手：加藤幸治（武蔵野美術大学教授・民俗学者）

参加無料・事前申込不要（当日会場へ直接お越しください）

武蔵野美術大学（通称ムサビ）は、1929年に設立の東京・小平市にある美術やデザインを学ぶことができる国内最大級の美術大学です。



KANBE
FOUNDATION

本活動は一般法人神戸財団の助成を受けて実施しています。